

NOSAI

おかやま

2026
春号
No.27

NOSAI おかやま 春号

2026 No.27

岡山県農業共済組合

〒700-8602 岡山市北区桑田町1-30
TEL 086-224-5588(代)
FAX 086-201-0133(代)
https://www.ok-nosai.or.jp



表紙紹介

おかやまおひさまファーム株式会社 代表取締役 齋藤 千恵子さん(61) (写真左)

岡山市南区でバナナを主力とするトロピカルフルーツを栽培しているおかやまおひさまファーム株式会社。就労継続支援も行っており、純国産のバナナを通じ農福連携に取り組んでいます。

栽培するバナナは流通量の少なさから「幻のバナナ」と呼ばれる「グロスマッシュ」という品種。香りの高さとさっぱりした甘みが特徴です。同社は安全安心なバナナを作りたいとの思いから、天敵農法を採用。害虫に対する天敵生物を利用することで農薬を使用せずに作物を栽培しています。

また、フードロスの観点から、様々な商品を意欲的に開発しており、規格外のバナナはジュースやクッキーなどに形を変えてお客様のもとに届けています。

「初めてバナナの木を見た時の感動を体験してほしい」との思いから農園を一般開放するオープンファームも実施。バナナの花や、大きな葉っぱの実物を体感できる見学に加えて収穫作業も体験できます。

各種商品はオンラインショップに加え、イオンモール岡山などで販売中です。



▲おかやまおひさまファーム株式会社のホームページはこちら



クイズに挑戦

広報紙の中にヒントがあるよ

NOSAI岡山の〇〇〇〇公式アカウントが始まりました
答え:〇〇〇〇

No.25(夏号)の解答 小損害

正解者の中から抽選で5名様に
おかやまおひさまファーム株式会社の「ドリンクセット」をプレゼント



●内容物:クラフトジンジャーとコーラの詰め合わせ
*解答の発表は、「NOSAIおかやまNo.28(夏号)」の紙面に記載します。また、当選者の発表は、商品の発送をもって代えさせていただきます。

のうぎょう川柳 & クイズ

応募方法・宛先

ハガキまたはメールで郵便番号・住所・氏名・年齢・電話番号・本紙全体のご意見・ご感想をご記入のうえ、右記宛先までご応募ください。

- 応募締切/令和8年5月29日(金)(当日消印有効)
- 宛先/〒700-8602 岡山市北区桑田町1-30 岡山県農業共済組合 「のうぎょう川柳」係 または「クイズに挑戦」係 E-mail kouhou@ok-nosai.or.jp

<個人情報の取り扱いについて> 皆さまからいただいた個人情報については、適切に管理するとともに、賞品の発送及び広報紙作成の参考とする以外の目的には使用いたしません。



<共済掛金等の口座振替をお願いしています>

現金納入でのお支払忘れ等を未然に防止するため、掛金等の納入には口座振替をお願いしています。現在口座振替をしていない方、登録済み口座や名義の変更をご希望の方は「口座振替依頼書」を金融機関、もしくはお近くのNOSAIまでご提出ください。 ※「口座振替依頼書」が必要な方はお近くのNOSAIまでご連絡ください。

■お問い合わせ先

- [本 所] ☎086-230-5542
- [備前支所] ☎086-277-5511
- [備南支所] ☎0866-83-2600
- [備北支所] ☎0866-21-0350
- [美作支所] ☎0868-54-5061

NOSAI岡山



友だち 募集中!!

LINE 公式アカウントはじめました!

農業保険に関する情報を中心に 農家の皆様へ有益な情報をお届けします

友だち追加方法

- ① スマートフォンからLINEアプリを起動します
- ② 「QRコード」から友だちに追加してください

追加は
コチラ



写真提供:公益社団法人 全国農業共済協会

受賞おめでとうございます!

「未来へつなぐ」サポート運動
令和7年度 全国NOSAI大会

令和7年11月26日(水)に、東京都内にて「未来へつなぐ」サポート運動令和7年度全国NOSAI大会が開催されました。
岡山県関係者の方が、令和7年度農業共済功績者表彰を受賞されましたので、ご紹介いたします。

令和7年度 農業共済 功績者表彰

第1号表彰

共済連絡員、損害評価員、損害評価会委員、家畜診療所運営委員、農業共済事業運営協議会委員又は嘱託・指定獣医師等として農業共済事業の適正な運営と進展に協力し、顕著な功績のあった者。

受賞者

(敬称略)



横田 稔 (新見市)



岡 保志 (岡山市)



岡本 知光 (美咲町)



浅沼 正義 (総社市)

第18回 臨時総代会開催

令和7年12月11日(木)に、岡山県農業共済組合6階大会議室にて、第18回臨時総代会を開催しました。
総代数127名のうち、会場出席者12名、書面議決書提出者102名の過半数の出席により、臨時総代会は成立しました。
議長には、備前地区の竹原幹総代が選任され、2議案についてご審議いただき、原案のとおり可決承認されました。

臨時総代会 提出議案

- 第1号議案
定款の改正について
- 第2号議案
事業規程の改正について



畑作物(大豆)共済

加入申込が始まります

令和8年産畑作物(大豆)共済の加入申込が**4月20日**より始まり
ます。

令和7年には干害、獣害等により岡山県下で約7割の大豆共済加入者の方に共済金をお支払いしました。
自然災害や獣害などが一の被害に備えて大豆共済に加入
しましょう。

選択できる主な加入方式

加入方式	全相殺方式	半相殺方式
補償内容	組合員ごとの基準収穫量より1〜3割を超える減収が発生した場合に共済金をお支払いします。(JA等の出荷資料により収穫量を把握できる方が対象)	現地調査を行い、圃場ごとの減収量の合計が、組合員ごとの基準収穫量の合計の2〜4割を超えた場合に共済金をお支払いします。
対象事故	風水害、土壌湿潤害、干害等の自然災害、病虫害、鳥獣害等	

前年の営農計画書に基づき、大豆作付予定者の方を中心に4月20日までに加入申込書を送付し、手続きのご案内をします。

また、新たに加入をご検討される場合は最寄りのNOSAI各支所までお問い合わせください。

加入申込受付期間は**令和8年4月20日**、**令和8年5月31日まで**となります。お忘れのないようにお申込みください。



干害により不稔が発生

いまさら聞けない
超基本!

水稻の高温障害対策を理解しよう

岡山県農林水産総合センター提供

1 「高温障害」って、なに?

植物が生育に適した温度(生育適温)を超える高温にさらされることで、正常な生育が阻害され、収量や品質が低下することです。

2 水稻では、どんな「高温障害」が発生するの?

生育適温を超える高温に、いつさらされるかにより、発生する障害は違います。育苗中は、苗の出芽不良や生育不良、移植後の生育前半は、活着不良や根傷みによる生育不良、出穂後は登熟不良が発生しやすくなります。特に、登熟不良になると、玄米が白く濁る「白未熟粒」が多く発生します。

また、高温条件下では、基肥の肥効が想定より早まり、生育後半に肥切れしやすくなります。紋枯病、もみ枯細菌病、カメムシ類等の病害虫も多発しやすくなり、これらは登熟不良を助長します。

3 登熟期の高温障害で発生する「白未熟粒」ってなに?

登熟期は、光合成により作られたデンプンが転流し、粉の中に蓄積され、これが玄米となります。

出穂期以降に、生育適温を超える高温にさらされると、このデンプンの転流・蓄積が阻害され、玄米が白く濁る「白未熟粒」が発生します。



(写真1) 白未熟粒 (写真2) 白未熟粒が多発した玄米 (写真3) 正常に登熟した玄米

4 水稻の「生育適温を超える高温」って、どのくらい?

水稻で最も高温障害の影響が大きいのは、登熟期です。出穂後の気温が高温になると、登熟不良が発生しやすくなり、品種別の白未熟粒が多発しやすい条件は、表のとおりとなっています。

最近話題の、「にこまる」「にじのきらめき」等の品種は、これまで高温障害が発生しやすいとされてきた高温範囲においても、登熟不良が発生しにくいとされる「高温耐性品種」です。

(表) 品種別の白未熟粒が多発しやすい条件

品種名	白未熟粒が多発しやすい条件
あきたこまち	出穂10~30日後の最高気温の平均値が31℃を超える。33℃を超えると顕著に増加する。
コシヒカリ	出穂5~25日後の最高気温の平均値が31℃を超える。
きぬむすめ	出穂後20日間の平均気温の平均値が25.5℃以上になる。
ヒノヒカリ	出穂後25日間の平均気温の平均値が25.0℃以上になる。

出典:岡山県農林水産総合センター農業研究所主要成果

「高温障害」を軽減するための対策

土づくりしよう!

根域を確保するため、できるだけ深耕しましょう。稲わらは秋にすき込み、土づくり資材も活用しましょう。

健苗を植える!

苗を老化させないよう、計画的に播種します。軟弱徒長させないよう、温度管理と水管理を徹底しましょう。

根傷みさせない!

常時湛水は、根傷みの元。活着したら、水の入れ替えを行い、間断かんがいを励行しましょう。

肥切れさせない!

幼穂形成期以降、生育状況をよく観察し、想定より葉色が低下している場合は、追肥をしましょう。

かけ流し、夜間かん水!

出穂期以降は、水田内の温度を下げるため、支障のない範囲で、かけ流しや夜間かん水を行いましょう。

落水はできるだけ遅く!

落水は出穂後30日頃以降まで我慢が基本。収穫作業に支障のない範囲で、できるだけ遅くしましょう。

適期防除する!

気候により状況変化する病害虫は、発生状況をよく観察し、適期を逃さないよう防除しましょう。

適期収穫する!

想定外の生育前進があるかも。水稻の生育状況をよく確認し、刈り遅れないよう、計画的に収穫しましょう。

気候変動に合わせた栽培方法に、アップデートできていますか?

収入保険の事故発生通知について

収入保険は、確定申告書に記載の売上金額を基に保険金等を算定、お支払いをしますが、保険期間において収入減少が見込まれる事故が発生した場合には、適宜NOSAIへご連絡していただく必要があります。事故発生の際には、現地確認等により被害を確認できる期間内を目安に、速やかにNOSAI各支所へご連絡をお願いします。



LINEから事故発生通知の連絡ができます!
NOSAI岡山のLINE公式アカウントを友だち追加することで、LINEで収入保険の事故発生通知の連絡が行えるようになります。
忙しい農作業の間でも、24時間スマートフォンから手軽に通知できます。
自然災害や病虫害、価格下落等、収入減少の事故が発生した際に、是非とも活用ください。

収入保険

×



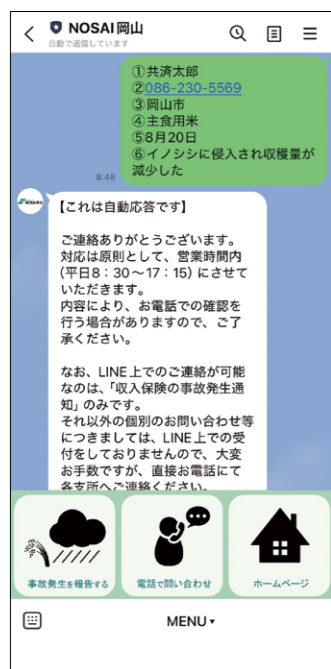
収入保険

友だち追加はこちらから!



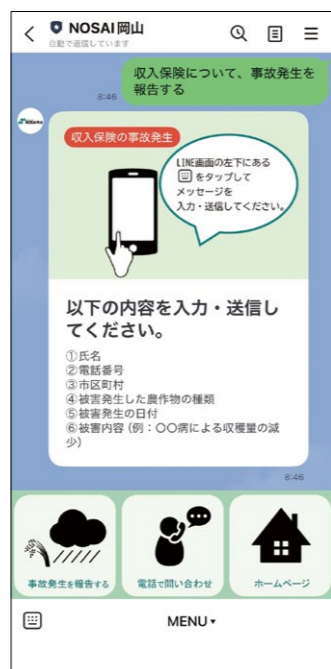
3

メッセージに従い、事故内容等を入力し、送信します。自動応答のメッセージが届きましたら、事故発生通知は完了です。なお、送信いただいた内容について、追加の確認連絡を行う場合がありますので、ご承知おき下さい。



2

入力内容について、メッセージが届きます。



1

NOSAI岡山のLINE公式アカウントのトーク画面を開き、メニューから「事故発生を報告する」をタップ、自動送信されたメッセージから続けて、「収入保険」をタップします。



保険料等助成措置を実施していただきました!

収入保険の加入者を対象に、令和7年度も保険料等の助成措置を地方公共団体から実施していただきました。

助成措置の効果である保険料等の加入者負担軽減により、収入保険の普及拡大に貢献いただき、誠にありがとうございました。

~助成措置を実施いただいた地方公共団体~

笠岡市

早島町

矢掛町



建物共済



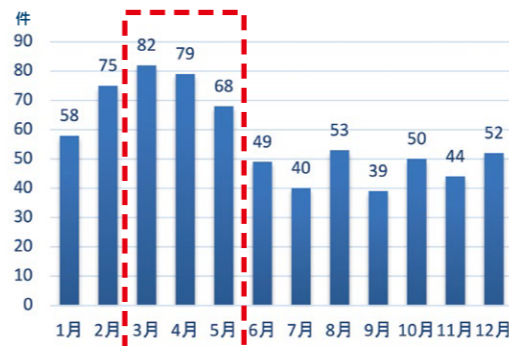
**要注意！ 春の火災と
モバイルバッテリー発火事故**

春は火災が起きやすい季節です

春は気温が上がり、活動量が増え、農作業を本格的に始める季節です。一方で、空気の乾燥や春の突風により、火災が起りやすい時期でもあります。

特に注意したいのが、たき火・野焼きなどによる火災です。風が強い日には火の粉が飛びやすく、建物に燃え移る危険があります。燃えやすいものの近くでたき火をしないことは勿論、その場を離れず火の様子を見守る、火が消えたことを確認し、完全消火を行うなど火災防止に十分留意しましょう。

月別火災発生状況(10年平均)



過去5年間の出火原因別順位

順位	1	2	3	4	5
元年	たき火	火入れ	放火	たばこ	こんろ
2年	たき火	火入れ	たばこ	放火	こんろ
3年	たき火	火入れ	放火	たばこ	こんろ
4年	たき火	火入れ	放火	たばこ	配線器具
5年	たき火	火入れ	放火	たばこ	電気機器

※放火には、放火の疑いを含む。

岡山県 令和6年版消防防災年報

増えています！

モバイルバッテリーの発火事故

スマートフォンやノートパソコンのバッテリーなど、リチウムイオン電池を使用している家電や電気機器は日常生活には欠かせないものになっています。しかし近年、電気機器や配線が原因となる電気火災が増加しており、岡山県内でも注意が呼びかけられています。

特にモバイルバッテリーは、強い衝撃を与えたり、高温になる場所に放置したりすると、発熱・発火する恐れがあります。全国的な問題で消費者庁から注意勧告がなされており、NOSA-岡山でもバッテリーの発火事故で共済金をお支払いしています。



火災予防に努めていても、思いもよらない火災や事故が起こることがあります。建物や家財を守るために「日頃の火災予防」に加え、「もしもの備え」として建物共済の加入をおすすめします。全焼のように大きな事故だけでなく、50万円以下の損害の場合でも、実損害額を加入割合に関係なくお支払いできる実損填補特約など、ニーズに合わせたご加入ができます。補償内容のご相談・ご不明点があればお近くのNOSA-までお問い合わせください。



家畜共済

早期の耳標装着をお願いします！

家畜共済では、牛トレーサビリティ制度を利用して飼養個体の確認を行っています。個体の誤登録を防ぐため、子牛が生まれた際には、**耳標(個体識別番号)の早期装着をお願いします。**

〜子牛が生まれた時のお願〜

- ・ 1週間以内の耳標装着
- ・ トレサの早期届出
- ・ NOSA-へ出生報告

出生だけでなく、死亡・転入・転出についてもトレサの届出をしてください。NOSA-への出生報告は最寄りの支所へご連絡ください。



出典:農林水産省ウェブサイト(<https://www.maff.go.jp/j/syouan/tikusui/trace/>)

職員募集のお知らせ (令和9年4月採用)

令和9年度採用職員を募集しています。業務内容は、保険加入手続きなどの内勤業務や保険の営業、被害の査定のための現地調査などの外勤業務があります。

応募方法

求人サイト(マイナビ)よりエントリー



募集期間

令和8年3月1日(日)～4月9日(木)まで

先輩職員にインタビュー! どんな仕事をしていますか?



備北支所 勤務 (R5年度採用)

ビニールハウスや農機具の保険を担当しています。入社前は全く接してなかった農業という分野に不安がありましたが、先輩職員の親身な助言と現場での経験から知識を身につけることができました。業務の中で出会った農家さんから、新たな保険加入のご依頼をいただいたときに、自分が信頼されていることを実感します。その瞬間に、この仕事ならではのやりがいやおもしろさを感じます。

- ### 1日の仕事
- 8:30 始業 保険加入の説明資料を準備
 - 9:00 農家の方を訪問し 保険内容を説明
 - 12:00 出先で昼食
 - 13:00 事故連絡のあった 農機具の査定
 - 16:00 事務所で書類作成
 - 17:15 退勤



本所 収入保険課 勤務 (R5年度採用)

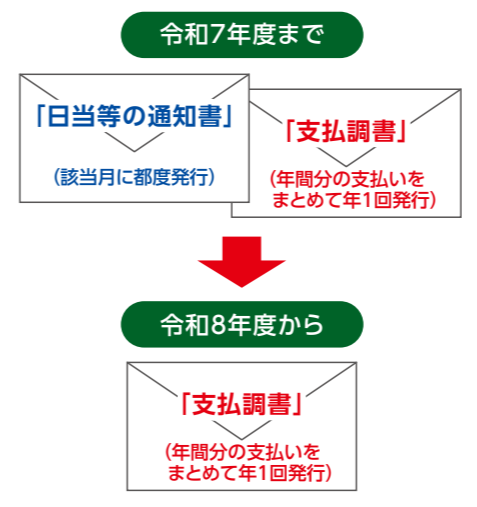
保険加入内容の取りまとめや保険金の審査業務を担当しています。関係機関と協力して進める仕事もあり、組織内外の色々な人と関わる仕事をしています。公的な保険として、日本の食を守る「農業」に寄り添い支える点がNOSAIの魅力です。業務に慣れるまで不安かもしれませんが、困ったときに相談に乗ってくれる上司や先輩方が多くいる職場ですよ。

- ### 1日の仕事
- 8:30 始業 メールチェック
 - 9:00 関係機関への 報告資料作成
 - 10:30 支所からの 問い合わせに対応
 - 12:00 同僚と昼食
 - 13:00 保険金審査業務
 - 16:00 関係機関へ 資料提出
 - 17:15 退勤

損害評価会委員・損害評価員・推進員等の皆様へ

出席日当等のお支払いに係る通知書の送付を廃止します

会議や損害評価等に出席された際には日当等をお支払いし、併せて支払内容を記載した通知書を送付していますが、昨今の郵送料の高騰に伴い、「令和8年度以降、通知書の送付を廃止」します。なお、例年1月に送付しております**確定申告に利用する「支払調書」**は今後も送付しますので、ご理解の程よろしくお願ひします。



カスタマーハラスメント (カスハラ) 対策について

組合員等の皆さまへ、より良いサービスの提供に努めています。その上で、サービスの改善にとって、組合員等の皆さまからの正当な苦情や、ご意見は貴重な資源であると考えています。その一方で、要求や言動の中には、職員に対する理不尽な要求や著しい迷惑行為がごく一部存在します。これらを踏まえて組合では、「カスタマーハラスメント対策基本方針」を策定しました。

どんな言動がカスハラに該当するの?

- ・ 正当な理由のない過度な要求
- ・ 長時間の拘束(居座り、電話)
- ・ 脅迫、暴言、暴力
- ・ SNSなどへの組織や職員の信用を損なう内容の投稿など
- ・ 継続的、執拗な言動 (電話や窓口での要求の過度な繰り返しなど)



カスハラと認められる行為があった時は?

- 職員や周囲の組合員等を守るため、次のとおり対応します。
- 必要と判断した場合お取引をお断り、または中止する場合があります。
- 悪質なカスハラや犯罪行為の場合は、直ちに警察へ通報するなど、関係機関と連携し対処します。

組合員等の皆さまと職員が、お互いの立場を尊重しあいながら、カスタマーハラスメントのない公正で持続可能な組織運営を実現し、良好な関係を築くため、ご理解とご協力をお願い申し上げます。



川柳

テーマ 縁・遠

- ◆ 縁側で 日向ぼこした 祖母の膝
- ◆ 縁ありて 生きた宝の 一つの命
- ◆ 妹と2人 縁より見ゆ 遠花火
- ◆ 遠くから 見守っている 父母の星
- ◆ 足腰を きたえるための 遠回り
- ◆ 縁あつて 我等結ばれ 六十年
- ◆ 縁あつて 共に励んで 良、老後
- ◆ 相性は 凶でも縁あり いま夫婦
- ◆ 空の雲 遠い古里 心を運ぶ
- ◆ 遠くから 見れば私も 皺が無い
- ◆ 子や孫が 縁側の意味 四苦八苦
- ◆ 天気です 山の奥では 遠雷か
- ◆ 反10依 遠い昔の 自慢種
- ◆ 近くには お役御免の 遠眼鏡
- ◆ 近眼も 遠視をすぎて 老眼に
- ◆ 山並を 遠くにながめ 夢登山
- ◆ 縁ありて キツネとタヌキ 結ばれる
- ◆ 縁もなき 高校バットに 感涙す
- ◆ 縁結び 歳を気にする 親心
- ◆ 遠路より 懐かしき友 同窓会

今号で募集するテーマは「花」または「歌」です。ご応募いただいた中からいくつかを、「NOSAIおかやまNo.29号(夏号)」でお名前とご住所(市区町村まで)をあわせてご紹介いたします。応募方法は裏面まで。



ノーサイくん探検MAP

今号では「美作支所」管内を紹介します。

黒毛和牛とスイーツのお店 Cafe 136 イチサンロク 勝央町



▲自宅のログハウスを改装した店舗。ゆったりとした時間を過ごせます

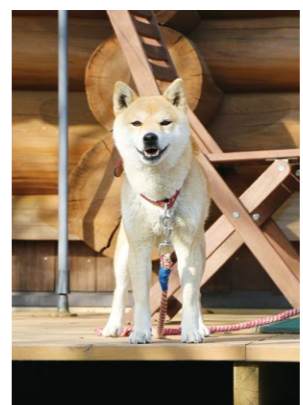
株式会社いたさか牧場が経営する、勝田郡勝央町の「Cafe 136」では、同社産黒毛和牛や自家生産米を使用した料理、旬の果物を使ったスイーツを提供しています。一部のメニューはテイクアウトが可能なほか、同社の黒毛和牛を冷凍で販売しているため、ご自宅でもおいしい黒毛和牛を召し上がることが出来ます。



▲一番人気の「ハンバーグプレート(150g:1,200円)」、黒毛和牛100%のハンバーグは食べ応え抜群。「ハンバーガー(1,200円)」も人気です

店主の板坂菜美さん(23)は、「カフェ経営を通じて地元農業を応援したい」と話し、提供するスイーツには地域農家が生産する新鮮な果物をふんだんに使用しています。果物の旬に合わせて内容が変わるため、

パフェを中心としたスイーツは全て季節限定。5月まではイチゴのスイーツを提供予定で、7月からはモモ、9月からはピオーネやシャインマスカットなどを予定しています。毎月第一金曜日は夜営業も実施。予約推奨のため、インスタグラムのダイレクトメッセージからご予約ください。インスタグラムでは営業日やスイーツの提供期間なども随時告知されています。



▲看板犬の「もこ」ちゃん。テラス席はペットの同伴も可能です

Cafe 136
住所 勝田郡勝央町美野136
営業時間 木金11時~15時 土日11時~16時
第一金曜日のみ夜営業あり
(18時~23時:予約推奨)
駐車場 5台 ※満車の場合は別途駐車場を案内させていただきます。
お問い合わせ 080-1570-2170
(営業時間のみ)
Instagram @cafe_136
※営業日やお店の詳細はInstagramをご確認ください。

頑張ってます!

高梁市でサトウキビ・茶などの栽培に取り組む浦田大輔さんをご紹介します。

◀沖縄に通い続けて節目の20年を迎える浦田さん



◆自転車旅での出会い

高梁市松原町の浦田大輔さん(53)はサトウキビや茶、水稲などを栽培しています。就農のきっかけとなったのは、趣味の自転車旅行で日本一周をした際に立ち寄った産直市場の野菜のおいしさに感動を覚えたことでした。

農業に携わってみたいと考え、2005年からは初夏から秋にかけて北海道のラベンダー園、冬から春にかけて沖縄のサトウキビ収穫畑での短期就労に従事するようになりまし。特にサトウキビ収穫の作業後の爽快感が忘れられず、現在に至るまで毎年、サトウキビの収穫に沖縄まで自転車で行っています。11年からは茶農家の知人の誘いを受け、松原町で茶とサトウキビの栽培を始めました。

化学農薬・化学肥料を使用せず、益虫や畑の微生物を活用し自然本来の環境のもとで栽培を行う「人と環境にやさしい農業」を実践しています。

◆6次産業化にも注力

6次産業化にも力をいれており、自身が代表を務める「旅農人ふあーむ」では焚火で炙った香ばしくて甘いお茶やサトウキビ糖蜜を煮詰めた黒蜜などの加工・販売をしています。「サトウキビは刈り取り後、時間経過とともに



▲皮の硬いサトウキビは搾るのも一苦労

糖分が抜けていくため、収穫期は寝る間も惜しんで黒蜜への加工をしています」と語る浦田さん。糖蜜や黒蜜をふんだんに使ったプリン、地元直売所内のカフェやイベントで人気を博しています。

◆「いちやうりばちやうでー」の心をもって

浦田さんはSNSを活用することで、農業を通じた交流にも積極的に取り組んでいます。定期的開催しているサトウキビの収穫体験では、サトウキビかじりや、生搾り糖蜜作りができ、県内外から多くの人が参加しています。茶摘み体験は高校の授業の一環として定期的に開催されており、収穫した茶葉は、京都の企業の協力のもと「ラボ商品」として抹茶へ加工・販売されています。浦田さんは沖縄で「いちやうりばちやうでー」(会った人は皆兄弟)の心を学びました。「今後も人との出会いを大切にして農業に触れる機会を提供することで、若い世代に培ってきた技術や経験、楽しい発想力を伝えていきたいです。2026年は沖縄に自転車を通いだして節目の20年目。これからも続けていきたいです」と笑顔で語ってくれました。



▲自家製さとうきびプリンは大好評の一品



全国を回って農業と出会った浦田さん。収穫体験などを通じて、若い世代にも農業の魅力を発信してくれているんだね。これからの挑戦も応援しています。